

森のおやこじかん12月

ピュア富士子育て応援講座

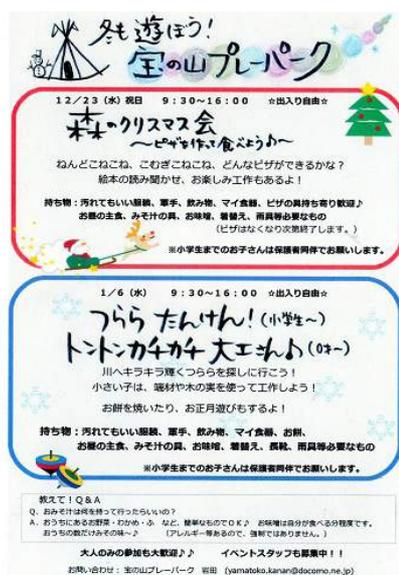
ともすく広場「子どもにとって『遊び』とは？ 資料1

昔あそびを 思い出す	<p>だるまさんがころんだ、手つなぎ鬼、おしくらまんじゅう、けんけんぱ、フラフープ用水路に（お盆は特に）流れてくるものを棒で刺して遊ぶ、おたまじゃくしすくい、タニシとり、カニとり、ザリガニとり、落ち葉ひろい、せみとり、せみの抜け殻集め、れんげつみ、竹馬、秘密基地。。。</p> <p>こうやって書いてもらおうと、外でみんなで遊んでいたことがよくわかります。何もなくても遊べる、年齢が違って一緒に遊べる</p>
ふりかえり	<p>缶ポックリなどは、大きい子が作ってくれた。自分が大きくなった時に、また小さい子に教える。小さい子には、「みそっかす」があって、みんなが参加できるようにみんなで考える。でも、その「みそっかす」がいやで、くやしい。どうしたらいいのか、考える。そうやって上達していく。できた！！すごい！！って思えた。</p> <p>遊びを通して学ぶことがいっぱいあった。人との距離感とか。 一緒に遊んで、泣かせたり、泣かされたり。どうしたら仲直りできるのか、考えた。人間関係の作り方を学んでた。自分が小さいころは、近所の子達と外で遊んでた。暗くなったら帰る それを信じて遊ばせてもらえた。それで平気だった。</p> <p>でも、今はどこまで放っておいてもいいか、正直迷う。</p> <p>自分が連れて行くと、決められた時間内で、親が見ている中で遊ばせるから、見ていて想像力が足りないと感じる。自由度が足りない。自分が主体じゃないみたい。</p> <p>今は近所の子とも遊ばないから、おさななじみ っていない。近所付き合いも薄い。自分の時には、みんな一緒に遊んでたのに と思ってしまう。</p> <p>昔は、人を集めてみんなでやる遊びがほとんどだった。 今は、お友達の家へ行って、別々にゲーム機で遊んでる。 それでも、一緒にいたいのが 人 なのかな と思う。</p> <p>家でおもちゃで遊んでると、それがないと遊べなくなる。 もっと、もっと買って！ と物欲が増える。</p> <p>同居だと、自由にさせてあげたくても制限させなくてはならないこともある。</p> <p>まわりの目を気にして叱ったり、やらせたりしてしまう。 それって、周りばかり見て、自分の子を見ていないことだった。</p>

<p>参加者さん からの感想</p>	<p>・自分の小さかった頃のことをありありと思い出すことができ、なんだかふるさとに里帰りしたようでした。皆さんの子どもの頃の話も自分との共通点が多く、それぞれに大切な、キラキラとした子ども時代があり、その時代が土台となって人生が始まっていることを改めて感じることができました。</p> <p>自分の子どもたちにも、ぜひ自分と同じようなキラキラした子ども時代を残してあげたいと思いました。</p> <p>・みんなで話してみると、いろいろなことを思い出すのだなと思いました。</p> <p>自分が育ってきた頃を思い出しながら、今の子どもたちに必要なもの 大切なものがわかった気がします。</p> <p>ここで感じたことを、今遊んでいる子どもたちに伝えていきたいなと思いました。</p> <p>・子どもの頃の事を、遊びを通じて思い出しました。当たり前ですが、小さい頃の自分があって今の自分があることを感じました。</p> <p>そしていろいろな経験・遊びを通して、気持ちを豊かにしていることを 学んでいることを知りました。</p> <p>・小さい頃の事を思い出し、楽しかったなあ という気分になりました。その反面、自分の子どもにも同じような体験をさせてあげたいなと思いますが、実際に難しいこともあります。</p> <p>一人っ子は特に、人間関係を築いていくのが限られてしまうな と感じました。</p> <p>・小さい頃のことを思い出すと、今につながってるなと思いました。</p> <p>地域や年代が違って同じような遊びをしていたというのはとても不思議な気がしました。</p> <p>今の子どもたちに昔のような環境を与えてあげたいと思っても、難しいのかもしれない。</p> <p>どうしたらいいのか、みんなで考えていきたいなと思いました。</p>
------------------------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

宝の山プレーパーク 平成27年度 成果報告書 No.8

日時	平成27年 12月23日(水) 祝日(天皇誕生日)	参加人数	36名
場所	宝の山ネイチャーセンター	初参加者	(9名)
テーマ	森のクリスマス会 ~ピザを焼いて食べよう~	市外参加者	(2名)
広報	チラシ	スタッフ	(6名)
		広報つる12月号に掲載 チラシ配布先 <ul style="list-style-type: none"> ・市内小学校 全8校 ・市内幼稚園 全2園 ・市内保育園 全11園 ・こすもす教室 ・都留文科大学 ・いきいきプラザ ・ファミリーサポートセンター ・ピュア富士 ・こぐまくらぶのクリスマス会 ・富士吉田市立図書館 	
目的	<ul style="list-style-type: none"> ・みんなでピザを作って食べる。 ・一緒に食べることにより、交流を深める。異世代交流。 ・自然の中で遊ぶ・食べることの実践を通して、自然を身近に感じることができる。 ・自然の中での危機管理能力向上。 		
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ピザを焼いて食べよう！（生地作り、持ち寄り具材でトッピング、ピザ釜で焼く、食べる） ・おみそ汁を食べよう！（持ち寄り具材と持ち寄り味噌で焚き火調理） ・クリスマス工作（折り紙・ダンボール・まつぼっくり） ・こぶたの会のおはなし会 ・自由に過ごそう！（自由遊び） 		
成果	<ul style="list-style-type: none"> ・チラシ効果により、新規参加者9名参加。 ・都留文大生3名スタッフ参加。 ・祝日開催により、参加人数増加。 ・異世代間交流ができた。 ・ピザやみそ汁をきっかけに、ゆったりできた。 ・親子の居場所として必要な場所との感想があった。 ・学生スタッフの導入により、子どもたちの遊びの幅が広がった。 		



<p>参加者 感想</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ピザをきっかけに、ゆったりできた。 ・子ども同士、母同士で過ごすことができた。 ・墨や泥を顔に塗って楽しかった。 ・たくさん遊べて楽しかった。 ・ピザがおいしかった！ ・いろいろ話ができてよかった。 ・親子の居場所として必要な場所だと思った。 ・休日開催をもっとしてほしい。 ・学生スタッフがいたので、小中学生の遊びがダイナミックになった。 ・初めての参加者さんが過ごし方がわからず戸惑っていた。 ・システムを理解していないと居場所がわからない。 ・天気が悪かったせいもあるが、もっと外で遊びたい。遊ばせたい。
<p>今後の 課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・リピーターさんで新規参加者さんのサポートができるような仕組みをつくる。 ・もっと外遊びができるような環境づくりをする。 ・学生スタッフの充実 ・大人サポーターの充実 ・来年度に向けての資金集めをする。（募金に協力してもらえるよう声がけする。） ・イベント参加者が継続的に来たくなるような場づくり ・情報発信の継続

スケジュール

8:30~	スタッフ集合
9:00~	ピザ釜火入れ
9:30~	イベント開始 クリスマス工作・自由遊び
9:40~	ピザ生地作成
10:40~	おみそ汁 火入れ
11:20~	ピザトッピング、順次焼いて食べる
11:30~	おみそ汁完成、食べる
14:00~15:00	こぶたの会のおはなし会
16:00	終了、片付け
16:40~17:00	スタッフミーティング

ピザ釜火入れ



ピザ生地作り



自由遊び しめ縄



自由遊び 砂場



クリスマス工作



持ち寄りおみそ汁



ピザ生地のぼし



ピザトッピング



ピザ焼き上がり



みんなでごはん



こぶたのおはなし会



宝の山プレーパーク 平成27年度 成果報告書 No.9

日時	平成28年 1月6日(水) 9:30~16:00	参加人数	16名
場所	宝の山ネイチャーセンター	初参加者	(6名)
テーマ	つららたんけん！トントンカチカチ大工さん	市外参加者	(6名)
広報	チラシ 	広報つる12月、1月号に掲載 チラシ配布先 <ul style="list-style-type: none"> ・市内小学校 全8校 ・市内幼稚園 全2園 ・市内保育園 全11園 ・こすもす教室 ・都留文科大学 ・いきいきプラザ ・ファミリーサポートセンター ・ピュア富士 ・こぐまくらぶのクリスマス会 ・富士吉田市立図書館 ・愛宕山こどもの国 	
目的	<ul style="list-style-type: none"> ・プレーパークに来るきっかけづくり ・冬休み中の小中学生に遊びを提供する ・乳幼児も楽しめるようにする 		
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・つららたんけんに行こう！（小学生以上） ・トントンカチカチ大工さん（0才～） ・おみそ汁を食べよう！（持ち寄り具材と持ち寄り味噌で焚き火調理） ・自由に過ごそう！（自由遊び） 		
成果	<ul style="list-style-type: none"> ・チラシ効果により、新規県外（東京・あきる野）参加者3名参加。 ・愛宕山こどもの国視察（チラシ配布）により、新規市外参加者3名参加。 ・リピーターさん参加。 ・市外参加者が6名！！市外では、なかなかこういう体験ができない。都留市のいいところPRができた。 ・大人の遊び（つるかご編み）も取り入れ、楽しんでもらえた。 		
参加者感想	<ul style="list-style-type: none"> ・楽しかった！！ ・甲府では、火を使えることがない。楽しめてよかった。 ・かなづちを持ったのが初めて（3才）夢中になって遊んでいて、いい体験ができた。 ・東京では、こういう施設はいつも予約でいっぱい！こんないいところが都留にあるなんて知らなかった。来られてよかった。 		

今後の
課題

- ・市外からの需要もある。都留を知ってもらうためにも、もっと広域の広報が必要。
- ・週末開催だと、遠方からでも来れる。週末開催をしたい！
- ・もっと遊びの幅を広げたい。 学生スタッフを充実させたい！！

添付資料



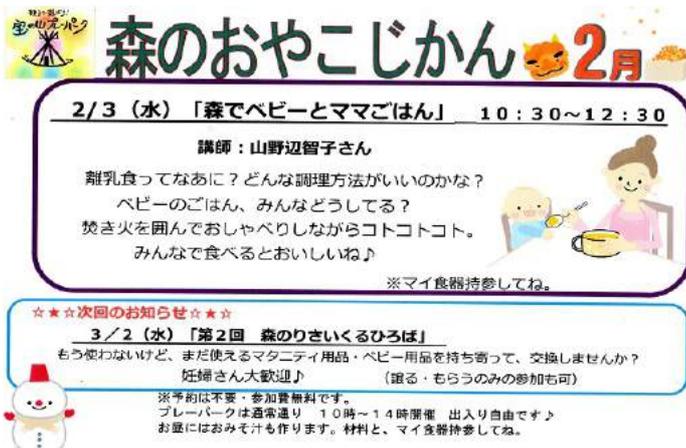
宝の山プレーパーク 平成27年度 成果報告書 No.10

日時	平成28年 1月13日(水) 10:30~11:30	参加人数	11名
場所	宝の山ネイチャーセンター	初参加者	(0名)
テーマ	親子ででわらべうた	市外参加者	(2名)
広報	<p>チラシ</p> 	<p>広報つる1月号に掲載 チラシ配布先</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いきいきプラザ ・ファミリーサポートセンター ・ピュア富士 ・富士吉田市立図書館 	
目的	<p>遊びの幅を広げる 親子のふれあいの時間を増やす</p>		
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・わらべうた ・絵本 ・パネルシアター ・紙コップ人形工作 		
成果	<ul style="list-style-type: none"> ・参加者が定着してきた。 ・わらべうたに触れる機会ができた。 ・参加者の満足感が得られた。 ・終了後に、お昼ご飯を食べていく人が増えた。 		
参加者感想	<ul style="list-style-type: none"> ・わらべ歌を一つでも覚えて、娘に伝えていきたいです。 ・先生のうたごえが心地よかったです。子どもとの時間にもっとこういうふれあい遊びを取り入れていきたいと思いました。 ・本当に楽しい時間でした。またこの「わらべうた」をやってほしいです。歌ももっと知りたいです。 ・ゆっくりゆっくりとした雰囲気と、先生の歌声がよかったです。こういう時間って、小さい子ども時代に必要だし、家でもこういう時間を作っていきたいです。 		
今後の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・ここだけ！の内容ではなく、覚えて家でもできるようなプログラムを依頼する。 ・冬でも楽しめる環境の整備 		

添付資料



宝の山プレーパーク 平成27年度 成果報告書 No.1 1

日時	平成28年 2月3日(水) 10:30~13:00	参加人数	12名
場所	宝の山ネイチャーセンター	初参加者	(3名)
テーマ	森でベビーとママごはん	市外参加者	(0名)
広報 チラシ			講師 山野辺智子さん 広報つる 1月号に掲載 チラシ配布先 ・いきいきプラザ ・ファミリーサポートセンター ・ピュア富士 ・富士吉田市立図書館
目的	子どもの食事の悩みを共有し、食事をおいしく、楽しいものにする方法を考える。		
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの食事の悩みを聞く。 ・時間がなくてもできるコツを伝える。 ・子どもと一緒にできることをやってみる。 ・本物の味、旬の味を味わう。 ☆メニュー☆ <ul style="list-style-type: none"> ・鯛の酒蒸し 菜の花・ゆり根添え ・おかひじきの白和え ・ごごみの白和え ・ごごみの胡麻和え ・にんじんの糠漬け 		
成果	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもと一緒にできた。 ・参加者さんが聞きたいことに応えられた。 ・参加者さんそれぞれの気づきがあった。 		
参加者 感想	<ul style="list-style-type: none"> ・とてもおいしかった。愛情たっぷりのごちそう、これからも食べていきたいです。勉強になりました。 ・おいしかったです！子どもと一緒にできたのが良かったです。意外と一緒にできることがあったので、子どもとお料理楽しもうと思います。 ・とてもゴージャスなお食事、おいしかったです。ちゃんとやろう！と改めて思いました。この活動を応援しています。 ・素晴らしい時間を過ごせました。鯉節を削ったり、料理する楽しみを知りました。自分では作らないレシピが増えました。 		

今後の
課題

- ・講師依頼時、企画書の提出。何を得たいのか、講師謝礼・材料費について合意する。
- ・参加者の得たいものは何かを見極める。
- ・参加者にどんなメッセージを伝えたいのか、絞込み。伝わるような企画にする。
- ・冬でも楽しめる環境の整備、情報発信の継続

添付資料





宝の山プレーパーク 平成27年度 成果報告書 No.1 2

日時	平成28年 3月2日(水) 10:30~13:00	参加人数	12名
場所	宝の山ネイチャーセンター	初参加者	(2名)
テーマ	森のりさいくるひろば	市外参加者	(2名)
チラシ		広報つる 2月号に掲載 チラシ配布先 <ul style="list-style-type: none"> ・いきいきプラザ ・ファミリーサポートセンター ・ピュア富士 ・富士吉田市立図書館 	
目的	使わなくなった子育てグッズのリユースと、親子の交流促進		
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・もう使わないけどまだ使える子ども用服・くつ、おもちゃなどの交換会 ・シートを色分けして、各自並べて、各自持って帰るシステム。 		
成果	<ul style="list-style-type: none"> ・使ってもらえる人の手に渡った。 ・新たな参加者がいた。 		
参加者感想	<ul style="list-style-type: none"> ・もう使えないものだけど、思い入れのあるものは捨てられない。誰かに使ってもらいたくても、迷惑じゃないかと思ってしまう。でも、ここだとほしい人がほしい物を持っていくってくれるからいいと思います。 ・あげたいけど、断られたら。。。安物だから。。。と持って行き場がなかったものが、誰かに使ってもらえると嬉しい。 ・おさがり、ありがとうございます。 		
今後の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・外で行ったため、寒かった。ベビー連れに配慮が必要。 ・持ち帰りをなくす ・建物に入ってしまうと、(大人が)外に出にくい。外に出たくなる環境を作る。 ・ベビー連れも一緒に過ごしたい。もっと外と中を繋げるといい。 		



宝の山プレーパーク 平成27年度 成果報告書 No.13

日時	平成28年 3月19日(土) 10時～12時	参加人数	29名
場所	ぴゅあ富士	初参加者	(17名)
テーマ	子育て講演会 「子どもの生きる力を育む『遊育』ってなあに？」	市内参加者	(16名)
		市外参加者	(13名)
講師	天野秀昭氏(羽根木プレーパーク初代有給プレーリーダー)		
広報			<p>広報つる・広報おおつき・広報おしの・広報にしかつら・ちびっこふれす3月号、ふじまりも3月12日号に掲載</p> <p style="text-align: center;">☆チラシ配布先☆</p> <ul style="list-style-type: none"> ・都留市内・道志村内・西桂町内 小学校全数 ・都留市内の全幼稚園・保育園・道志村保育園 ・いきいきプラザ ・ファミリーサポートセンター ・ぴゅあ富士 ・都留市役所 ・富士吉田市立図書館 ・富士吉田市役所 ・富士河口湖町子ども未来創造館 ・富士吉田市つどいの広場ハーモニー <p>計3500枚</p>
目的	<ul style="list-style-type: none"> ・プレーパークの考えに共感してくれる人を探す ・“自分ごと”として、子どもの育ちを考えるきっかけとする。 ・一緒に子どもの遊びと育ちを支えるメンバーを募集する。 		
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの頃の遊びを思い出して書き出す。 ・遊んだことを隣の人とシェアする。(10分) ・天野秀昭さんの講演(70分) ・感想をシェアする。(5分) ・質疑応答 <p style="text-align: right;">※講演内容は別途資料1参照</p>		
成果	<ul style="list-style-type: none"> ・アンケート結果から <p>“自分ごと”として捉え、子育てや幼児保育に生かしたい という感想をもらった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・プレーパークの考えに共感してくれる人がいた。 ・一緒に子どもの遊びと育ちを支えるメンバーの呼びかけに3名反応があった。 		

	<ul style="list-style-type: none"> ・親世代や、保育者など、子どもに一番近い人たちに共感し、自分ごととして受け止めてもらった ・都留市外の人参加者も多かった。 都留市のPRになった。
参加者感想	別途資料2 参照
今後の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・プレーパークとはどんな遊び場？を見てわかるよう表示しておく。（看板等） ・企画を早めに練り、広報を早く出す。 ・託児人数の検討、託児の締め切り早める ・当日、建物内の案内表示をわかりやすくする ・ビデオ撮影して記録を残す ・募金をもっとお願いする ・意見交換できる場をセッティングする。 ・プレーパークの活動に参加しやすい提案をする。

添付資料



「子どもの生きる力を育む『遊育』ってなあに？」

遊ぶことは、生きること。

五感を使った遊びは、情動に働きかける。
情動が伴うと、より鮮明に記憶に残る。
記憶が、自分を作っていく。 その積み重ねで
「私が私である」というアイデンティティが確立する

教育 = 教える、育てる（相手が主体）

遊育 = 遊ぶ、育つ（自分が主体）

『遊育』というのは、自分が主体。
「やりたい」と思ってやるのが、遊び。
「やりたくない」と思ってやる鬼ごっこは、遊びじゃない。

子どもは、快—不快 で行動する。
“おもしろそうだから、やってみる！”
“気持ち悪いから、やらない” など。

大人は、善—悪 で行動する。
“これはいいことだから、やったほうがいい”
“こんなことをしても意味がないから、やらない” など

しかし、大人も最終的な判断をするのは「快—不快」なのだ。
不倫がなくなるのも、そのためだろう。

今は、「暮らしの、都市化」が進んでいる。
田舎だから、都市化しないのではない。
何でも合理化され、ボタン一つで何でもできてしまうようになった。

そして、少子化ではなく、「多大化」
子どもが少ないのではなく、
大人が多すぎるのだ。
これだけ大人が多いと、子どもは大人の目から逃れられない。

子どものいる現場では、「教育」ばかりが行われている。
「教育」の現場では、教育者に褒められる行動をしなければならない。
教育者の価値観で行動するしかない。
その時には、自分の気持ちを押し殺してしまう。
教育者の価値感で自分を作ると、自分がなくなってしまう。
自分がわからない、やりたいことも何もなくなってしまう。

しかし、これは教育が悪いといっているのではない。
「遊育」の価値を認め、
教育の中に、「遊育」上手に取り入れたらいいだけなのだ。

生命の原点である動物脳は、9才頃までに出来上がる。
乳幼児期～は、生涯の準備期間。
この時期にしっかりと遊んで、情動をたくさん動かすことが必要だ。

外で遊ばないとセロトニン不足になる。
それは、うつの原因にもなっている。
外で遊ぶことは必要なのだ。

免疫系の神経は小腸にある。
脳の中の小腸の神経のある場所と、情動の神経がある場所が連動している。
情動を動かすことにより、免疫力もUP！！

子育てにおいて、孤育て（一人で抱える子育て）は、非常に危険である。
親は我が子を冷静な目で見られない。
他人だと、ゆとりを持って見てもらえる。

みんなでみんなの子を育てればいい。
そうすれば、育児がもっと楽しくなる。

子ども同士も、ぶつかって初めて知る。
相手は相手だということ。
自分は自分だということ。

遊びを通して、いろんな人との関わり方を学んでいくのだ。

遊びを通して、自分の価値観が育つ。
遊びを通して、自分を唯一無二の大切な存在だと思える。

「やりたいことを やってみる」 = 『遊育』

それこそが、子どもの生きる力を育むのである。

天野秀昭さん講演会 アンケート結果

年代	性別	子ども	居住地区	きっかけ	満足度	感想	今後の希望	応援団
20	女	—	都留市	広報・知人	○	自由教育の発想からきているお話なのかなと思いました。大人の立場の目線から子ども主体に変えるという視点はとても新鮮でした。		横内美咲
20	女	—	都留市	知人・友人	◎	遊育を十分に地域の人々や親、行政が理解していくことがとても重要です。この輪を広げていきましょう！！少しずつでも、大きな力になっていくはず。信じて、この都留でやっていきましょう！		
20	女	0才	都留市	広報・図書館	◎	遊育の大切さ、子どもにどう作用するかが聴けてとてもよかったです。私は以前幼稚園に勤めていたのですが、教育が重視されすぎていて子ども達に悪かったなと反省したし、何となく感じていた違和感はコレだったんだと思った。でも自分の子を育てるには現代は育てにくいなとすごく感じた。		
20	女	1才	都留市	知人・友人	◎	自分好みの子どもに育てようと、知らず知らずのうちに行動していたので、「遊育」を大切にしていきたいです。すごく勉強になりました。あっという間の時間でした。		
20	女	11ヶ月	都留市	知人・友人	◎	教育・遊育について、初めてしることもあったり、すごく納得することもあったり。どこまで遊育をゆうせんすべきか、なやむところもあるけど、出来るかぎり子どもには遊ばせたいと思いました。		
30	女	1才	都留市	知人・友人	◎	卒論で「ボール遊び」をテーマに研究した時に、世田谷のプレーパークも見学に行ったことがあります。子どもにとっての「遊び」の大切さ、改めてとても勉強になりました。ありがとうございました。		
30	女	0才	大月市	子育て支援センター	◎	子ども時代は、思いっきり遊ぶのがよいと頭ではわかっていましたが、その理由をととてもわかりやすくお話いただきました。大人の価値観ではなく、子どもへの声がけもつい「よくできたネー！」と言ってしまいましたが、気をつけたいです。これからたくさんの方の中で子育てしていきたいです。		
30	女	1才、3才	昭和町	ちびっこぶれす	◎	子どもとケンカしたりする中で子どもを育てたい と強く強く思うようになってきた時期このお話を伺って「あーやっぱりそうだなあ」と思う所ほとんどでした。たくさん遊ぶ場を一緒にまわってみたいと御思います。すてきなお話ありがとうございました。	今日の先生の続きのお話が伺いたいです。子どものころの遊んだ体験など	

40	女	1才	都留市	知人・友人	◎	講演会に参加できたこと幸運でした。「遊育」という聞き慣れない言葉に好奇心を抱き、「遊育」って何だろうと思ながら会場に向かいました。 遊育の内容の深さに感嘆。乳幼児期～は将来の生きる力を身につける大切な準備期間だと言うことを知りこんな大切な時期があるなんて考えてもいませんでした。子育てをするようになって自分はこの子のためにどういう風に育てていけばいいのか 今までは教育にばかり目を向けていた自分に気づきました。講演会の後、今までの考え方をチェンジ！早い段階でこのお話を知ることができて本当に感謝です。もっと多くの人に聞いてもらいたいお話ですね！ありがとうございました！	
40	女	—	都留市	知人・友人	◎	大人が楽しむことも本当に大切だと思いました。自分の家族にも紹介したい。正直、軽い気持ちで聴きに行ったんだけど、想像以上にぐっと心に響くお話でした。 あのお話から私の今後も見えてきて、本当に根っこはおなじなんだなあと感じました。	寺岡ひろこ
40	女	—	都留市	—	◎	すごく考えさせられました。我が子には自分の世界を持って自分の世界を作ってほしいと節に願っていますが、今の自分にそれに関わっていけるか不安です。ですが不安ではなく子供が一生懸命遊ぶ「遊育」に原点があることがわかり子供と一緒に成長していきたいです。	
40	女	10才、12才	都留市	学校チラシ	◎	自分の子供時代を振り返る良い機会となりました。また、我が子への接し方に反省する部分も多くありました。幼児教育に関わる仕事をしているので職場に帰ってから生かしていけたら と思います。	
40	女	—	忍野村	ちびっこぶれす	◎	遊育の意味がとても良くわかり、情動を育む心を大人も子どもも感じていければと思います。	尾藤安喜子
40	女	—	都留市外	知人・友人	◎	日頃感じていたことを、言語化して頂けたような感じでとてもわかりやすいお話をききました。ありがとうございました。	
40	女	—	富士河口湖町	—	◎	とてもリラックスしてお話を聴く事ができました。本日はどうもありがとうございました。一つ子どもの頃に遊んだ思い出で素敵な思い出を思い出しました。遊育について知ることができ 家族や職場に広げていきたいと思っています。	
40	女	15才	都留市外	知人・友人	◎	とてもためになるお話で、いろいろ考えさせられました。今保育をやっています。今日学んだことをこれからの保育にいかしていきたいと思っています。ありがとうございました。	
40	女	—	—	—	◎	こんなに面白い講演は久しぶりでした。(いつもは教育的な講演だったので・・・)子育てをするようになって、自分のとまどう部分が多いのですが、プレーパークを通して「遊育」がとても大切であることを知りました。ぜひ遊育を大切にしたいと思っています。	

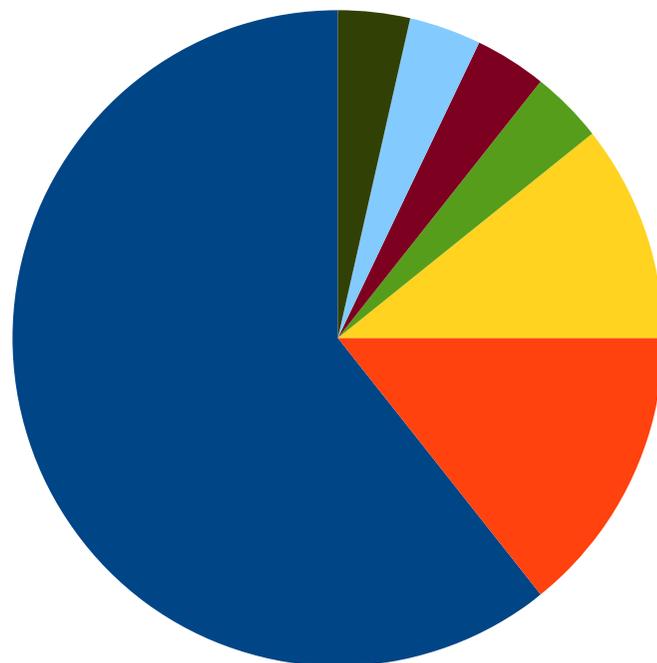
40	男	3才、9才	道志村	知人・友人	◎	「遊育」という言葉の定義、いじめの本質、プレイパークの歴史など、いろいろ興味深いお話をきくことができました。	今日のように宝の山から市街地でのプレイパークの開催を年に一度でよいから継続してほしい。
50	女	—	大月市	広報	◎	遊育について、考えるきっかけとなりました。もう一度、子育てを楽しみたいと思いました。	
10	男	—	—	知人・友人	○	今の子どもたちは自分のやりたいことを本気でできなくて、やりたくないことをたくさんしている というのをきいて、小さい頃からもっとじゆうにさせたほうがいいと思った。	
10	男	—	—	知人・友人	○	「遊ぶ」という考え方、脳の内部の役割がわかった。	

参加人数 計28名（都留市内17名、市外11名）+講師1名

（忍野村4名、大月市3名、道志村1名、上野原市1名、昭和町1名、富士河口湖町1名）

母親：12名 父親：2名 独身：2名 学生：3名 市役所関係：2名 幼児保育関係：5名、祖父母世代：2名

天野秀昭氏講演会 参加者 合計28名



- 都留市 17名
- 忍野村 4名
- 大月市 3名
- 道志村 1名
- 上野原市 1名
- 中巨摩郡 1名
- 富士河口湖町 1名

○忍野村4人は、託児所仲間
 ○北杜市からも申込みがあったが、お子さんの体調不良で欠席
 ○知人・友人からの紹介が多く、次いでちびっこぷれす、市の広報が効果的。

講演会「子どもの生きる力を育む『遊育』ってなあに？」

<プログラム>

(9 : 3 0 開場)

遊びを思い出してみよう♪

1 0 : 0 0 【始めのことば】

遊びを思い出してみよう♪つづき

1 0 : 1 0 【シェアタイム】

隣の人とシェアしてみよう！

1 0 : 2 0 【講演】 (7 0 分)

1 1 : 3 0 【シェアタイム】

2～3人でシェアしてみよう！

1 1 : 3 5 【質疑応答】 (1 0 分)

1 1 : 4 5 【終わりのことば】

1 2 : 0 0 終了 片付け

※アンケート記入をお願いします。

ボランティア大募集！！

活動継続のため募金、あそべるモノの提供の
ご協力お願い致します。

<講師紹介>



天野秀昭氏

☆プロフィール☆

東京都葛飾区生まれ

20歳の頃、自閉症児との出会いから「遊びの世界」の奥深さを実感。

1979年に開設された日本初の民官協働による冒険遊び場「羽根木プレーパーク」で初代有給プレーリーダーを務める。世田谷・駒沢・烏山の3プレーパークの開設に地域住民と共に携わる。2つのNPO法人『冒険遊び場づくり協会』『プレーパークせたがや』立ち上げの一員。両法人理事。

14年にはNPO法人『園庭園外での野育を推進する会』を発足。理事長を務める。

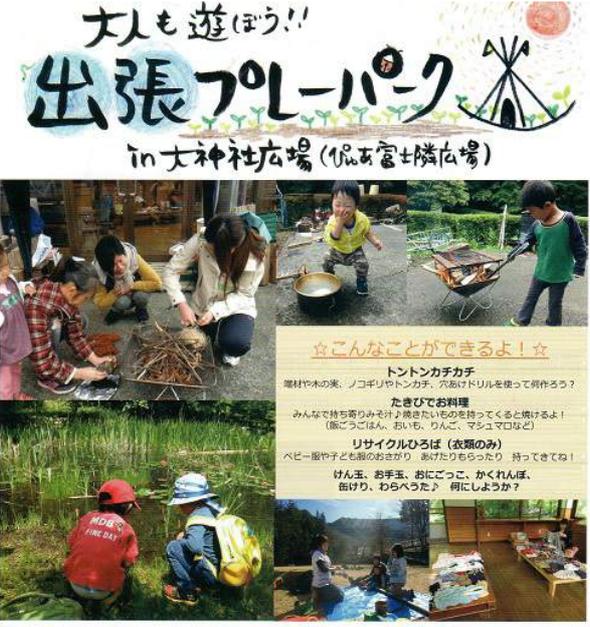
著書「子どもはおとなの育ての親」
「よみがえる子どもの輝く笑顔」

☆☆☆何して遊んだ？☆☆☆（都留市在住の30～60代の方の子どもの頃の遊び）☆☆☆☆☆

泥でおままごと、缶けり、缶ポックリ、なわとび、ゴムとび、まりつき、あやとり、シロツメクサのかんむり、石を投げてとぶやつ、泥だんご、タニシとり、ダンボールめいろ、だるまさんがころんだ、手つなぎ鬼、おしくらまんじゅう、けんけんば、フラフープ、用水路に（お盆は特に）流れてくるものを棒で刺して遊ぶ、おたまじゃくしすくい、カニとり、ザリガニとり、落ち葉ひろい、せみとり、せみの抜け殻集め、れんげつみ、竹馬、秘密基地。。。

主催：宝の山プレーパーク 後援：都留市、都留市教育委員会、富士吉田市教育委員会
宝の山プレーパークは、都留市市民委員会の補助金を受け、活動しています。

宝の山プレーパーク 平成27年度 成果報告書 No.1 4

日時	平成28年 3月19日(土) 10時~15時	参加人数	68名
場所	大神社広場(びゅあ富士隣)	初参加者	(33名)
テーマ	大人も遊ぼう!出張プレーパーク	市内参加者	(49名)
プレーリーダー	新津里子さん、新津裕さん、岩田和明さん (プレーリーダー経験者)	市外参加者	(15名)
		不明	(4名)
広報	<p>チラシ</p>  <p>日時: 3月19日(土) 10:00~15:00 参加無料 予約不要 雨天決行</p> <p>時間内ならいつでもいつ帰ってもOK! 小学生以下は、保護者同伴でお願いします。 講演会参加の方のお子さん(小学生)は、講演会時間内は男児OK! 持ち物: 汚れてもいい服、着替え、飲み物、お昼の主食、味噌汁の具、お味噌(持寄り味噌汁作ります!)、マイ箸</p> <p>問合せ: 宝の山プレーパーク Mail: takarapurepa@gmail.com TEL: 090-2682-4965 (岩田) Blog: http://takarapurepa.blog.fc2.com/</p>	<p>☆情報誌掲載☆</p> <p>広報つる・広報おおつき・広報おしの・広報にしかつら・ちびっこぶれす3月号、ふじまりも3月12日号に掲載</p> <p>☆チラシ配布先☆</p> <ul style="list-style-type: none"> ・都留市内・道志村内・西桂町内小学校全数 ・都留市内の全幼稚園・保育園・道志村保育園 ・いきいきプラザ ・ファミリーサポートセンター ・びゅあ富士 ・都留市役所 ・富士吉田市立図書館 ・富士吉田市役所 ・富士河口湖町子ども未来創造館 ・富士吉田市つどいの広場ハーモニー <p>計3500枚</p>	
目的	「やりたい」ことにチャレンジし、「できた!」の経験を積むことにより、自己肯定感を得る。結果、自分・子ども・他者を認められるようになる。		
プレーリーダーの役割	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの気持ちを受け止め、「やりたい」を実現できるようサポートする ・リスクマネジメント ・遊びゴゴロをくすぐる仕掛けづくり ・子どもと一緒に遊ぼう、本気で遊ぶ! ・子どもの心を代弁する 大人との架け橋を担う ・プレーパークの考え方を伝える ・スタッフになれそうな人に声がけをする 		